

ano.jp)へ。問い合わせは同係(☎27・1111)。

110番通報の仕方

外国籍住民研修

茅野署

「110番の日」の10日、茅野署は外国籍住民向けに、110番通報の仕方を教える研修会を開いた。写真。家族連れなど30人余が参加。通訳を交えながら約1時間、通報から捜査に至る過程や、通報時に伝えるべき項目などを学んだ。



同署はまず、事件や事故が起きた場所や時間といった通報の際に伝えるポイントを、英語、タガログ語、中国語、ポルトガル語の四つの言語で説明した資料を参加者に配布。宮崎茂男・地域課長が「GPS(衛星利用測位システム)機能付きの携帯電話で通報すれば、警察側で通報者の居場所は分かる」「日本語が苦手な人には、通訳につなげることもできる」などと説明した。携帯電話を使って、通報の練習もした。

来日5年目というフィリピン出身の主婦、金子シャルミン(又さん)(27)「富士見町落合」は「緊急の時に日本語が話せるか不安だったけれど、通訳がいることが分かって安心した」と話した。

地域の外国人支援活動に取り組んでいる茅野市のNPO法人「ねじやらし茅野」(岡元春美代表)が通訳や研修会のPRに協力した。